

英語 A (English IV A)

担当教員名	原 良子	
学科・専攻、科目詳細	電気情報工学科 電気電子工学コース 4年 前期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(15%) B-1(25%) E-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	精読、速読を行なうことで語彙力の拡大と読解力の向上を図る。文法の復習を適宜行い、正確な情報収集力を養う。教材で得た情報や英語表現を自らの表現力・発信力に展開する。	
テキスト(参考文献)	Mark Jewel 「Taking Sides: Opinions For and Against」朝日出版社 刀祢雅彦「システム英単語」(3年次より継続使用) : 駿台文庫	
履修上の注意	授業中の私語、居眠り、忘れ物、予習の不徹底、携帯電話の使用などは欠席扱いとみなす。欠席過多、試験未受験など明らかな棄権行為が原因で成績不振に陥った場合、原則として再試験や学力補充は行わない。	
科目の達成目標	教材を通して情報の理解を深め、情報伝達に必要な表現力を身につける。英語リーディング、リスニングを通して語学力増強および基礎的なコミュニケーションの能力養成を目指す。	
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句を事前に調べ、教科書の予習箇所を完全に終えておくこと。 システム英単語の語彙を完全に自分のものとするよう音声CDも活用し学習すること。 	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<p>合格の対象としない欠席条件(割合) : 1/4以上の欠課</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験(50%)、クイズ(50%) 定期試験は教科書の内容の理解度を問う設問を提示する。 クイズは3年次から使用しているシステム英単語からの語彙テストで、半期で10回行なう。 授業参加度として1回の欠席につきマイナス1点、遅刻2回で欠席1回の扱いとする。総合評価として60%以上達成した者を合格とする。 	
連絡先		

授業の計画・内容	
第1週 授業概要説明	授業で行なう内容、課題、評価方法などの説明を行い、授業進度予定表（シラバス詳細表）を配布する。
第2週 教科書Unit 1 および システム英単語クイズ（1）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第3週 教科書Unit 2 および システム英単語クイズ（2）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第4週 教科書Unit 3 および システム英単語クイズ（3）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第5週 教科書Unit 4 および システム英単語クイズ（4）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第6週 教科書Unit 5 および システム英単語クイズ（5）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第7週 復習	これまでの授業の復習を行なう。
第8週 前期中間試験	前期中間試験の実施。
第9週 前期中間試験返却	前期中間試験を返却し解説を加える。 グループワーク（ディベートに挑戦）
第10週 教科書Unit 6 および システム英単語クイズ（6）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第11週 教科書Unit 7 および システム英単語クイズ（7）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第12週 教科書Unit 8 および システム英単語クイズ（8）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第13週 教科書Unit 9 および システム英単語クイズ（9）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第14週 教科書Unit 10 および システム英単語クイズ（10）	リーディングを通して教科書の内容を理解し、自分自身の意見を口頭で述べ意見交換を図る。
第15週 復習	これまでの授業の復習を行なう。
期末試験	